

# 日本体力医学会編集委員会における依頼総説等の基本方針

2014年4月9日（水）

1. 本学会発行の和文機関誌『体力科学』に掲載されている「総説」および「教育講座」は、これまで本編集委員会が推薦・依頼してきた。これらの原稿は、学会等における該当者の学術的貢献、学識および見識を十分勘案し、掲載してきたよき伝統がある。これによって多くの有用な学術情報を会員に提供してきた。この方式は本学会ではすでに定着している。

2. 2012年度から刊行された本学会の英文機関誌・JPFSM誌においてもこのよき伝統を継承し、創刊号より本編集委員会によって推薦・依頼された『Review』および『Short Review』が掲載されている。

このような二種類の依頼原稿については、Editor-in-Chief等による大局的な立場からの内容の校閲・査読およびJPFSM誌専属のNative checkerによる本学術誌に対応した綿密な添削が実施されている。この一連の編集過程を経た後、添削された原稿を著者に一旦送付し、内容を十分確認していただいている。このような経過を経て最終原稿が著者よりJPFSM編集部へ提出され、最終原稿はJPFSM編集部およびEditor-in-Chief等によって十分確認された後、所定の印刷業務を丁寧に実施した後にJPFSM誌を出版している。現段階ではこの編集過程が円滑に機能しているものと考えている。したがって、本編集委員会によって推薦・依頼を受けた『Review』および『Short Review』については、JPFSM誌の査読論文と同等の扱いがなされているものと判断している。

一方、JPFSM誌では、本編集委員会の推薦がなくても、『Review』や『Short Review』を投稿できる編集規定が採用されており、投稿は常時オープンとなっている。実際、この方式によって投稿された『Review』論文が厳格な査読を経てJPFSM誌に出版されている（JPFSM, 1(2): 325-331, 2012）。

JPFSM誌では、以上のように、執筆者の高い見識と学識をベースとして、『Review』および『Short Review』の刊行を目指している。尚、「体力科学」誌でも投稿による「総説」を常時受け付けている。

このような方針の下に、本JPFSM誌がアジアを代表するスポーツ医科学・体力科学・健康科学等の分野に関する国際学術誌として発展することを強く願って編集委員会の活動を展開・実施している。

尚、2015年度（JPFSM, Vol. 4, No. 1-No. 5）までの『Review』および『Short Review』の依頼原稿については本編集委員会で既に確定している。その内容は本学会ホームページ（HP）で公開中であり、その内容を常時閲覧できる。その内訳を是非ご確認いただきたい。

3. 本編集委員会では、今後とも、『体力科学』誌および『JPFSM』誌共に高水準の依頼総説などの掲載を目指している。

以上、本学会の学術機関誌における依頼総説の現状とこれまでの経緯を示すと共に、今後とも本編集委員会が発行している二種類の学術機関誌がさらに発展するよう、会員の皆様方の尚一層のご理解・ご支援をお願いする次第である。また、本学会機関誌に関して建設的なご意見・ご感想をお寄せいただければまことに幸甚である。

日本体力医学会編集委員会

委員長：鈴木 政登

副委員長：今泉 和彦